

2022 年度版

「がん対策に関する施策の実施状況報告書」

【愛知県がん対策白書】

2023 年 5 月

愛知県

目 次

報告書の趣旨	1
I がん対策に関する施策実施状況の概要	2
II がん対策に関する施策の実施状況に係る進行管理について	14
III がん対策に関する目標の進捗状況及び各施策の実施状況 (第3期愛知県がん対策推進計画の進捗状況)	15

報告書の趣旨

愛知県がん対策推進条例（以下、「条例」という。）は、2012年10月、がん対策に関する県の責務等を明らかにするとともに、がんの予防及び早期発見の推進、がん医療の充実その他のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、がん対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進することなどを目的として制定されました。

同条例第16条第2項では、「県は、毎年、がん対策に関する施策の実施状況に関する報告書を作成し、これを公表するものとする。」と定めており、この規定に基づき、2022年度のがん対策に関する施策の実施状況を取りまとめました。

なお、愛知県のがん対策は、愛知県がん対策推進計画に基づき実施しており、2022年度は、第3期愛知県がん対策推進計画（2018年3月作成）の5年目になります。

I がん対策に関する施策実施状況の概要

1 がんの予防・がん検診による早期発見の推進

(1) がん検診普及啓発

市町村、企業等と連携し、「がん検診受診促進キャンペーン月間（10月）」を中心にポスターを配布する等、広くがんの予防やがん検診の普及啓発を実施しました。

① 市民公開講座の開催

日 時：2022年10月1日（土）午後2時～午後3時

開催方法：オンライン（Live 配信）

内 容：住友生命保険相互会社、中外製薬株式会社と共催でがんに関しての様々な情報を発信する市民公開講座を開催しました。

② 子宮頸がん啓発公開講座の配信

日 時：2022年12月28日（水）～配信開始

配信方法：YouTube

内 容：中外製薬株式会社と共同で、子宮頸がん検診に関する啓発動画を作成し公開しました。

③ がんに関するチェックリストの作成・配布

普段からがん罹患のリスクに備えることができるよう、明治安田生命保険相互会社と住友生命保険相互会社の協力のもと「突然のがんに備えるチェックリスト～その時慌てないために～」のチラシを作成し配布しました。

④ がん対策推進連携企業や鉄道会社における啓発ポスターの作成・掲示

がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間(10月)に合わせて、キャンペーン月間の周知用ポスターを作成し、掲示して周知を行いました。

作成部数：1,350部

配布先：連携企業（ユニー、
スギヤマ薬品等）店舗、
スポーツ協会、市町村等

キャンペーン月間ポスター⇒



(2) がん検診の精度管理の向上

① がん検診従事者講習事業

がん検診の精度向上のため、各種がん検診に従事する者の資質向上を目的とした講習会を開催しました。また、2016年度から胃内視鏡検査が国のがん検診の指針に追加されていることから、がん検診の胃内視鏡検査に従事する医師に対する研修を開催しました。

ア 各種がん検診従事者講習会の開催

胃がん検診従事者講習会、大腸がん検診従事者講習会、乳がん検診従事者講習会、細胞診従事者講習会に係る従事者講習会をオンラインで開催しました。

期間：2023年2月13日（月）から2月28日（火）（YouTubeにて配信）

- ・胃がん検診従事者講習会（参加者（YouTube視聴回数） 183名）

「胃がん検診の精度管理」

「ワンランク上を目指す拘りの撮影」

- ・大腸がん検診従事者講習会（参加者（YouTube視聴回数） 105名）

「日本の大腸がん死亡率を諸外国並みに下げするために、私たちがなすべきこと～大腸がん検診の正しい理解と構築すべきがん検診体制～」

「大腸がん撲滅にむけた大腸内視鏡の役割」

- ・乳がん検診従事者講習会（参加者（YouTube視聴回数） 167名）

「みんなで構築しよう、新たな乳がん検診」

「乳がん検診とマンモグラフィ」

- ・細胞診従事者講習会（参加者（YouTube視聴回数） 81名）

「乳がん検診細胞診検査 ー進化する乳がん診療時代における細胞診検査の役割とはー」

イ 胃内視鏡検診従事者研修会の開催

開催日：2023年1月23日（月）～2月12日（日）（YouTubeにて配信）

参加者：331名（YouTube視聴回数）

対象者：愛知県内市町村における胃がん検診の胃内視鏡検査に携わる医師等

内容：胃内視鏡検査の実施にあたり適切な体制を構築するため、胃内視鏡検査を実施するための留意点や偶発性対策に係る研修会を実施しました。

② がん検診精度管理委員会の開催

前年度の市町村がん検診の実施結果やプロセス指標改善のための取組状況等を調査・集計し、それを基に専門家で構成する委員会の意見を聴取の上、市町村への統計情報の提供や技術的助言を実施しました。

(乳がん検診精度管理委員会、胃がん・大腸がん検診精度管理委員会、肺がん検診精度管理委員会、子宮がん検診精度管理委員会を各 1 回開催)

2 県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアを受けられるがん対策の推進

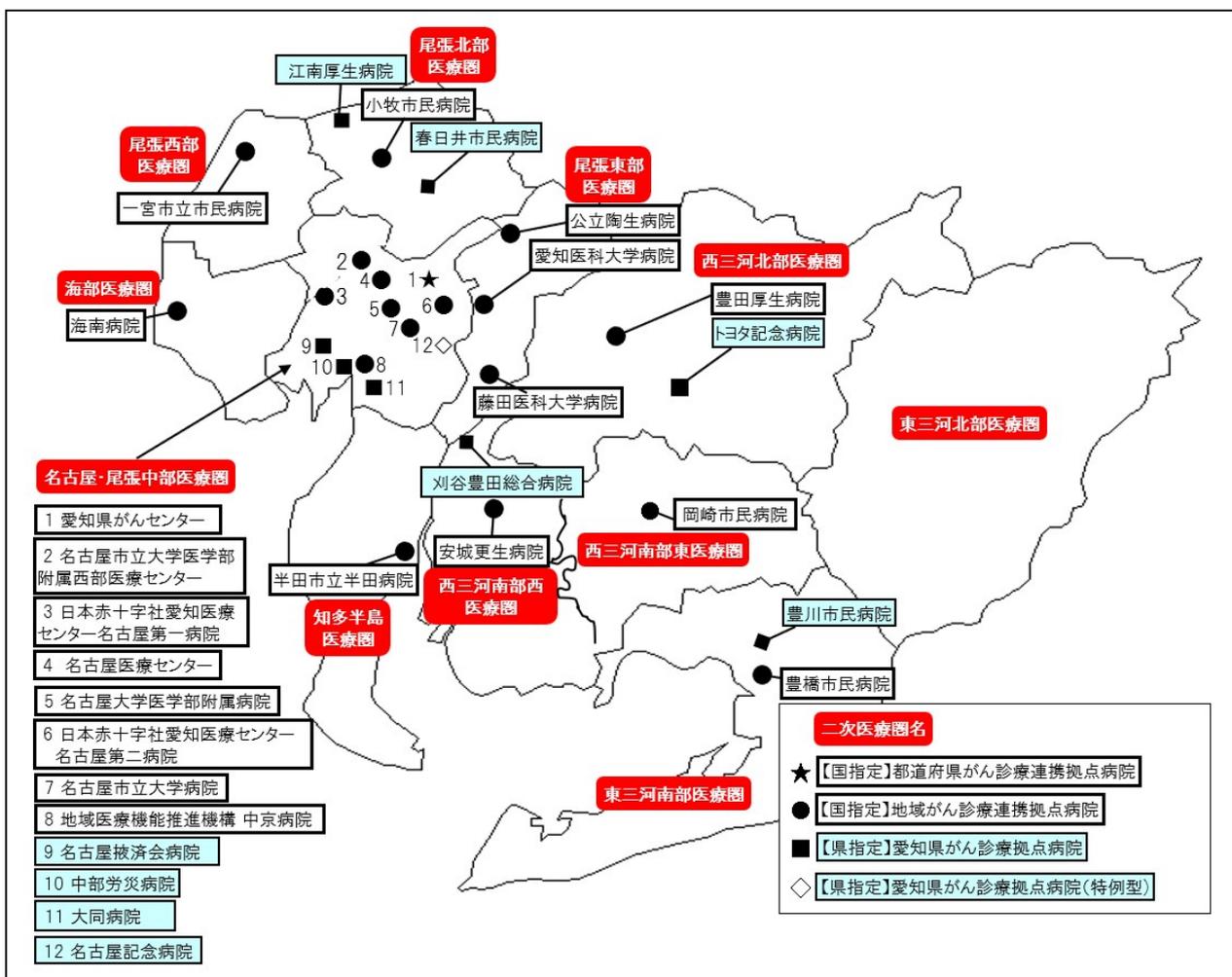
(1) がん治療の推進

① がん診療連携拠点病院等の指定

愛知県では、国が指定する「がん診療連携拠点病院」と県が指定する「がん診療拠点病院」を中心に地域におけるがん医療水準の向上とがん診療連携の強化を図っています。

2023年4月1日現在 がん診療連携拠点病院（国指定）19病院
がん診療拠点病院（県指定）9病院

【愛知県内のがん診療連携拠点病院・がん診療拠点病院（2023年4月1日現在）】



拠点病院が有すべき機能、各病院の診療実績及び県計画の目標の達成状況については、国指定の拠点病院は2015年度から、県指定の拠点病院は2016年度から毎年愛知県のウェブサイトに掲載しています。

【掲載した情報】

- ・ 拠点病院の主な指定要件（診療機能、医療施設、人員配置等）に関する説明
- ・ がん診療連携拠点病院の診療実績（院内がん登録、手術、放射線治療、薬物療法等の実績）
- ・ 愛知県がん対策推進計画において目標数値としている診療報酬に係る施設基準（緩和ケア診療加算等）、医療従事者の配置（がん薬物療法専門医）等の達成状況

② がん診療連携拠点病院等の取組

都道府県がん診療連携拠点病院である愛知県がんセンターにおいて愛知県がん診療連携協議会を開催する等、様々な取組を行っています。

③ がん診療連携拠点病院に対する補助事業

がん診療連携拠点病院に対する補助事業を実施し、がん相談支援事業や医療従事者に対する研修などの取組を促進しました。

【がん診療連携拠点病院等が実施する緩和ケア研修会の実績】

実施病院数：29 病院（開催回数：39 回）

受講者：707 名

3 子どもから高齢者までライフステージに応じたがん対策の推進

(1) がん教育の充実支援のための取組

① がん教育総合支援事業の実施

がんについて正しく理解し、健康と命の大切さについて主体的に考えることができる子どもの育成を目的に、愛知県のがん教育のあり方や地域支援体制の検討、外部講師の活用を図るため、協議会の開催や研修会、外部講師派遣事業を実施しました。

② がん教育外部講師リストの作成

がんに関する科学的根拠に基づいた知識などの専門的な内容を含むがん教育を進めるに当たっては、外部講師の活用が重要とされていることから、がん診療連携拠点病院及び愛知県がん診療拠点病院の協力の下、2023年度用がん教育外部講師リストを作成し愛知県教育委員会及び名古屋市健康福祉局に提供しました。

(2) 小児がん対策

病気療養児の教育に携わる教員や医療者等が、日頃の支援の中で困っていることやわからないことについて、研修会にて意見交換や情報交換を実施しました。

(3) A Y A世代のがん対策

① 妊よう性温存治療費助成事業

将来自分の子どもを産み育てることを望むがん患者等に、精子や卵子等の採取・凍結保存を行うのにかかる費用及び温存後生殖補助医療にかかる費用を助成しました。

【助成件数】

胚（受精卵）凍結	25件	精子凍結	32件
未受精卵凍結	27件	精巣内精子採取術による精子凍結	0件
卵巣組織凍結	6件	温存後生殖補助医療	13件

② 愛知県がん・生殖医療ネットワーク等によるセミナーの開催

「愛知県がん・生殖医療ネットワーク」（SOFIA）において、妊よう性温存に関する職種間・院内外連携の現状と課題や、意思決定支援について学ぶ医療者向けセミナーを実施しました。

(4) 女性に特有のがんに係るがん対策

「女性特有のがん対策専門会議（2013年度開催）」による提言を踏まえ、検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体と連携した講演会の開催による啓発活動や、女性が検診等を受診しやすい環境づくりのための医療機関に関する情報提供を実施しました。

① 大学等と連携した子宮頸がんに関する講演会の開催

開催大学：中京大学

開催日：2022年11月16日（水）

参加者：中京大学の学生及び教職員等 185名

② P T A連絡協議会と連携した乳がんに関する講演会の開催

共催団体：春日井市小中学校P T A連絡協議会

開催日：2022年6月9日（木）

参加者：春日井市小中学校P T A等 65名

③ P T A会員や女子学生等を対象に乳がん・子宮頸がん検診の啓発リーフレットや女性が活用しやすい啓発資材としてあぶらとり紙を配布

④ 受診の際に参考となる医療機関の情報や女性特有のがんに関する情報を愛知県 のウェブサイトに掲載

掲載機関数（2022年6月現在）：211

(5) 働く世代のがん対策

「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議（2013～2014年度開催）」による提言（2015年3月）を踏まえ、働く世代のがん検診受診率向上やがんに関しても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施しました。

① 働く世代のがん対策講演会の開催

がんの予防、早期発見や治療と就労の両立をテーマとしたがん専門医やがん治療経験者による講演を企業と連携し開催

ア 企業名：ディーピーティ株式会社

開催日：2022年7月19日（火）

参加者：従業員 11名

イ 企業名：株式会社名古屋銀行

開催日：2023年2月27日（月）

参加者：120名

② 「あいち地域治療と仕事の両立支援推進チーム会議」の参画

地域の実情に応じた治療と仕事の両立支援のための取組の促進が図られるよう、地域の関係機関及び関係者により構成された「あいち地域治療と仕事の両立支援推進チーム会議」に参画し、連携を図りました。

チーム構成：愛知県医師会、愛知県経営者協会、日本労働組合総連合会愛知県連合会、愛知県社会保険労務士会、全国健康保険協会愛知支部、愛知産業保健総合支援センター、愛知県（労働局、保健医療局）、名古屋市 等
事務局：愛知労働局労働基準部健康課

③ 「仕事と治療の両立支援取組事例集」の作成

事業所における環境整備の促進を目的として、仕事と治療の両立支援の取組事例や労働者の望む支援を広く周知するため、治療と両立して就労している労働者及び両立支援に積極的に取り組んでいる事業所等にヒアリングを行い、好事例としてその内容を冊子にまとめ、県内事業所等へ配布しました。

4 みんなで支え合い、がんになってもがん患者や家族が安心して暮らせる社会の実現

(1) がん患者・家族に対する相談支援

① ピア・サポーター養成事業

ピア・サポート活動を周知するための講演会と、活動に必要な知識や対話技術を学ぶ「ピア・サポーター養成研修」を患者団体に委託して開催しました。

ア 講演会

開催日：2022年9月16日から10月31日までYouTubeで配信

参加者：YouTube視聴回数 238名

内容：がん体験者であり緩和ケア医師でもある講演者が、がんとの向きあい方について講演。がん体験者による体験談、ピア・サポート活動の紹介など

イ 研修会（計4回、オンライン開催）

開催日：2022年11月5日（土）、11月19日（土）、12月3日（土）、12月17日（土）

参加者：24名

場所：国際デザインセンター（2日目、3日目はオンライン開催）

内容：がん医療の基礎知識、がんのピア・サポートとは、ピア・サポートのルールとマナー、対応技法（積極傾聴・応酬話法）、模擬相談など

② がん患者・家族に関する電話相談

がん治療経験者によるがん患者・家族の悩みや疑問に対する電話相談を患者支援団体に委託して実施しました。

ア 電話相談事業

市町村に広報掲載を依頼する等、県民に事業を広く周知

実施日数：120日

利用者数：410名（前年度：利用実績390名）

③ 看護師等のためのがん患者さんのこころのケア対応研修

開催日：2023年1月21日（土）

内容：がん患者の抑うつ状態に早期に気づいて適切な対応ができるよう精神心理的苦痛に対する支持的コミュニケーションスキルや対応方法等について学ぶ。

(2) アピアランスケア支援事業

医療用ウィッグや乳房補整具等を購入したがん患者の購入費用を支援する市町村に対して助成しました。

(3) がん患者・家族に対する情報提供

「がん相談支援センター」を始めとする様々な相談窓口や医療費等の制度をまとめた「がん患者サポートブック」と、がんに関する様々な情報に行き着くための入り口となる「お役立ちシート」を作成し、県内の医療機関や関係団体を通じてがん患者・家族に配布しました。

① あいちのがんサポートブック

作成部数：10,000部

② お役立ちシート

作成部数：6,400部



(4) がん罹患状況等の把握・分析

がん登録等の推進に関する法律（2013年法第111号）に基づき、がんの診断・治療に関する情報を医療機関から収集することで県民のがん罹患状況を把握し、がん対策やがん研究の基礎資料とするとともに、集計結果を医療機関や県民に情報提供しました。

① 愛知県悪性新生物患者登録事業（全国がん登録事業）

医療機関から提出された届出情報について全国がん登録システムを用い審査・突合・整理を行いました。

また、2019年分のがん罹患データを集計し結果を冊子「愛知県のがん統計」にまとめ関係機関に配布するとともに、インターネットで公表しました。2019年に愛知県在住で新たにがんと診断された数は51,301件（延べ件数：男性29,292件、女性22,009件）となりました。

② 愛知県がん登録情報利用等審議会の開催

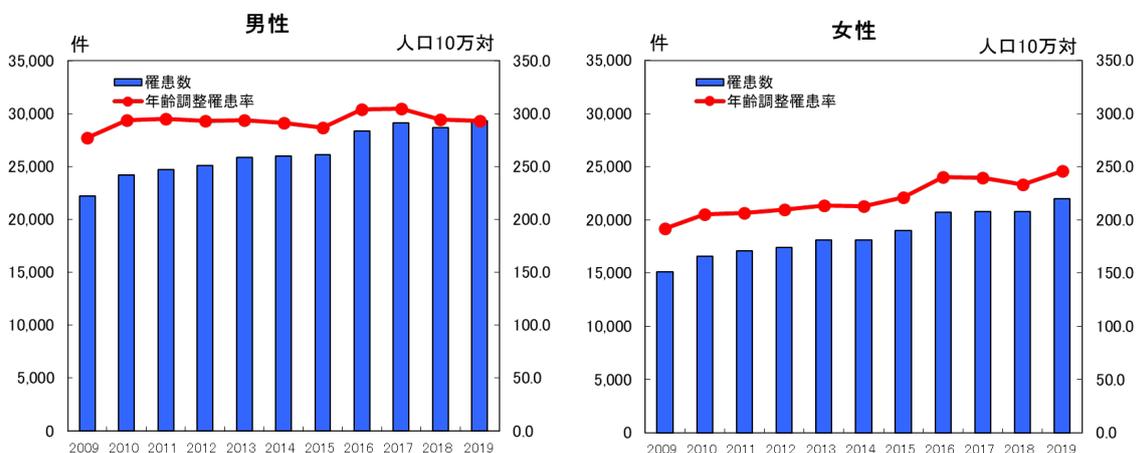
全国がん登録情報の利用申請があり、情報提供の可否について審議するため愛知県がん登録情報利用等審議会を開催しました。

- ・ 第1回
開催日：2022年6月14日（火）
申請数：2件
結果：2件とも承認
- ・ 第2回
開催日：2022年10月4日（火）
申請数：2件
結果：2件とも承認
- ・ 第3回
開催日：2023年1月5日（木）
申請数：1件
結果：承認
- ・ 第4回
開催日：2023年3月16日（木）
申請数：1件
結果：承認

■がん罹患数・年齢調整罹患率の推移（2009年から2019年）

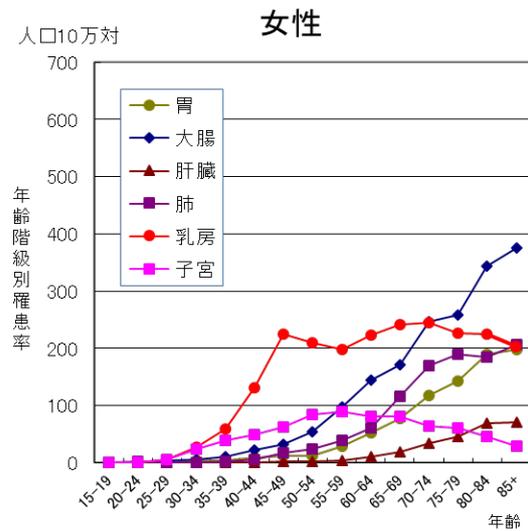
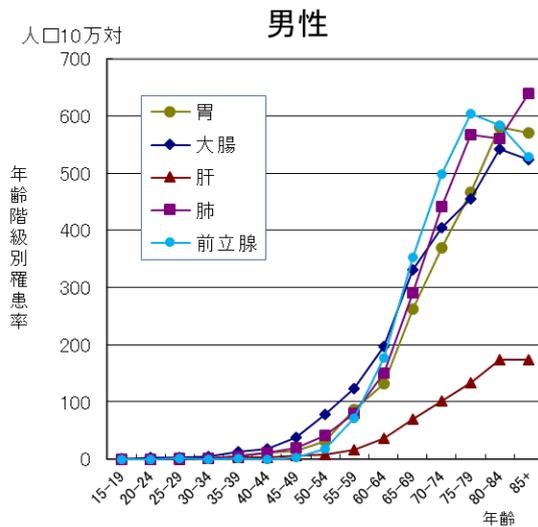
がん罹患数は、増加傾向にありましたが、増加傾向が鈍化しここ数年はほぼ横ばいとなっています。2016年は前年度の一割増しになっています。これは2016年に、がん登録が地域がん登録から全国がん登録に切り替わり、病院に届出義務が課されたため届出数が増加し、罹患数が上昇したことが要因と考えられます。

年齢調整罹患率（人口10万対）は、男性はほぼ横ばい、女性は増加傾向となっています。



■ 部位別・年齢階級別罹患率（人口10万対2019年罹患分）

部位別・年齢階級別罹患率を見ると、男性では55歳以上でがんの罹患率が急増し、部位別罹患率の第1位は、35-64歳の各年齢階級は大腸がん、65-84歳は前立腺がん、85歳以上は肺がんです。一方女性では、30代から乳がん、子宮がんの罹患率が上昇しており、部位別罹患率の第1位は、30-69歳の各年齢階級は乳がん、70歳以上は大腸がんです。



II がん対策に関する施策の実施状況に係る進行管理について

愛知県では、関係団体並びに有識者等によって構成される「愛知県健康づくり推進協議会がん対策部会」を開催し、法律に基づき策定した「愛知県がん対策推進計画」の目標達成状況や取組状況等を適宜報告し、評価することにより、計画の進行管理を行うこととしています。

下記のとおり同部会を開催し、県当局から2022年度の目標達成状況、施策実施状況及び今後の取組の方向性案について報告し、御意見をいただきました。

- 開催日
2023年1月23日（月）午前10時から正午
- 構成員

所属・職名	氏名
名古屋市立大学大学院 医学研究科 精神・認知・行動医学分野 教授	明智 龍男
名古屋大学医学部附属病院 化学療法部 教授	安藤 雄一
愛知県がんセンター 病院 副院長兼乳腺科部長	岩田 広治
愛知県中小企業団体中央会 中小企業支援部長	牛丸 穰
がん治療体験者	加藤 那津
武豊町 健康福祉部 次長兼健康課長	近藤 昭子
一般社団法人愛知県歯科医師会 副会長	梶村 豊彦
名古屋大学大学院 医学系研究科 小児科学 教授	高橋 義行
愛知県小中学校長会 保健体育委員長	田中 雅也
東海市 市民福祉部 健康推進課 統括主幹	柘植 由美
愛知県がんセンター 総長	丹羽 康正
NPO法人ミーネット 理事長	花井 美紀
藤田医科大学 医学部放射線腫瘍科 教授	林 真也
愛知県がんセンター 病院 副院長兼看護部長	林 美子
愛知県がんセンター 研究所 がん予防研究分野 分野長	松尾 恵太郎
衣浦東部保健所 所長	丸山 晋二
愛知県がんセンター 病院 病院長	山本 一仁
公益社団法人愛知県医師会 理事	横山 正